

12 タイキマロンの21年産 牝

父：ディスクリートキャット (USA) 母の父：ファスリエフ (USA)

2021年3月14日生 (鹿毛) 美浦・大竹正博厩舎 入厩予定

生産：(有)ビクトリーホースランチ 繋養牧場：(有)ビクトリーホースランチ

全400口 総額2,000万円／一口出資金50,000円／月々の維持費 1,750円／一口



ディスクリートキャット(USA) 鹿毛 2003年	Forestry(USA) 鹿毛 1996年	Storm Cat(USA)
		Shared Interest(USA)
	Pretty Discreet(USA) 鹿毛 1992年	Private Account(USA)
		Pretty Persuasive(USA)
タイキマロン 鹿毛 2013年	ファスリエフ(USA) 鹿毛 1997年	Nureyev(USA)
		Mr. P's Princess(USA)
	マロノヴィーナ 黒鹿毛 2007年	タニノギムレット
		タンザナイト

Northern Dancer M4×S5

Family Line

母 タイキマロン

1勝、本馬は第2仔

祖母 マロノヴィーナ

1勝

タイキサターン：3勝
タイキマクスウェル：1勝

曾祖母 タンザナイト

3勝

ダンビュライト：4勝 京都記念 (G2)、AJCC (G2)
[孫]ブラックスピネル：5勝 東京新聞杯 (G3)
インフィナイト：2勝 サウジアラビアRC (G3) 2着

4代母 キャサリンパー (USA)

仏入着 アスタルテ賞 (G2) 3着、ブシュケ賞 (G3) 2着
アロングイト：5勝 ジャパンCダート (JPN1)、東海S (G2)
[孫]マリアライト：6勝 宝塚記念 (G1)、エリザベス女王杯 (G1)
クリソペリル：3勝 チャンピオンズC (G1)
クリソライト：3勝、[南関東]5勝 ジャパンDダービー (JPN1)
リアファル：4勝 神戸新聞杯 (G2)、菊花賞 (G1) 3着
[曾孫]オーソクレーン：2勝 ホープフルS (G1) 2着、
菊花賞 (G1) 2着

Broodmare Sire

母の父 ファスリエフ (USA)

1997年生 鹿毛 米国産

【競走成績】

伊英仏5戦5勝
モルニー賞 (G1)、フィニクスS (G1)、
コヴェントリーS (G3)

【母の父として】

Big Orange (GB)：アスコットゴールドC (G1)
Meliora (AUS)：アンガスアルマナスC (G2)
Awesome Planet (AUS)：ドゥームベンローゼS (G3)

TRAINER 大竹正博 調教師 (美浦)

1969年12月30日生 東京都出身
2009年開業 JRA通算304勝

※成績は2022年6月28日現在

【主な管理馬】

ブラストワンピース：有馬記念 (G1)
ルージュバック：オールカマー (G2)
ソーヴァリアント：チャレンジC (G3)
ザダル：京都金杯 (G3)

Sire

父 ディスクリートキャット (USA)

2003年生 鹿毛 米国産

【競走成績】
米首9戦6勝

シガーマイルH (G1)、ジェロームBCH (G2)、
UAEダービー (G2)、ヴォスバーグS (G1) 3着、
BCダートマイル (L) 3着

【直近3年の種付頭数】

2019年143頭、2020年106頭、2021年111頭

【代表産駒】

Dads Caps (USA)：カーターH (G1)
Discreet Marq (USA)：デルマーオークス (G1)
エアハリファ (USA)：根岸S (G3)
コンバステーション：ヒヤシンスS (L)



©Darley

(有)大樹ファーム 荻野豊代表のコメント

赤みがかった明るい鹿毛の女の子はタイキマロンの21年産。母は名門キャサリンパー族で、現役時代はスピード感のある走りを武器としてJRAで1勝を挙げました。初仔であるアースビート (父サトノクラウン) は、仕上がりの早そうな馬体と前向きな気性で、すでにゲート試験を終え、このカタログが皆様の手に届くころにはデビュー戦を迎えているでしょう。第2仔である本馬は、父にアメリカのG1ウィナー・ディスクリートキャットを迎えました。母タイキマロンは、どうやら自身の特徴を伝えやすいようで、本馬も全体的なバランスは母や姉によく似た馬体に育っています。しかし、細かいところを見ていくと、肩周りの重厚さはディスクリートキャットの特徴が良く出ていますし、トモの筋肉量も父から引き継いでいる要素です。尻の形も父によく似ていますね。両親の良いところがしっかり出た好馬体だと自負しています。性格面は人懐こく、余計なことをしない大人しいタイプです。今後、姉アースビートの様にやんちゃな面が出てこないとも限らないですが、厩舎に入っても可愛がってもらえるでしょう。ロンジングでの動きは、淡々とリズムを刻むような歩様で、馬体から想像するよりも軽やかな動きを見せてくれています。この血統の爆発力に大いに期待しています。